



# いとうの杜新聞

令和7年9月号

介護老人保健施設 いとうの杜  
短期入所生活介護 いとうの杜  
居宅介護支援事業所 いとうの杜  
通所リハビリテーション いとうの杜  
2025年9月15日 発行 第174号

## いとうの杜祭り・スツアの開催となりました

拝啓 初秋の候、残暑なお厳しき中、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当施設の運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、このたび当施設では、長引くコロナ禍を乗り越え、6年ぶりに「いとうの杜祭り」を開催する運びとなりました。ご利用者様に季節の彩りと笑顔をお届けしたいとの思いから、職員一同で準備を進めております。

当日は、感染対策を十分に講じたうえで、趣向を凝らした職員による屋台、熱海高校エイサー部や伊東大田楽の生演舞、職員による出し物等皆様にお楽しみいただける催しを予定しております。ご家族の皆様にもご参加いただけるよう配慮しておりますので、ぜひご来場いただき、ご利用者様とのひとときをお過ごしいただければ幸いです。

■開催日：令和7年10月26日（日曜日）

■時間：12時30分～14時00分ごろまで

■場所：介護老人保健施設 いとうの杜 正面玄関付近及び1階フロア

ご参加希望の方は、事前にご連絡いただけますと幸いです。お車での来場も可能となっております。

皆様のご来場を、心よりお待ちしております。

敬具

令和7年9月15日 介護老人保健施設いとうの杜 杜祭り実行委員長 大蔵幸治

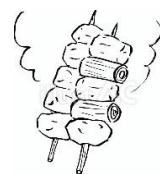
## 予告 出し物

「いとうの杜職員による日本舞踏」

「熱海高校 エイサー部による演舞」

「伊東太田楽による演舞」

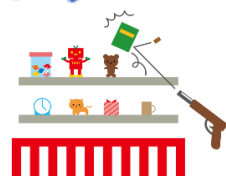
## 屋台



「じゃがバター」「肉まん・あんまん」  
「焼きそば」「フランクフルト」  
「やきとり」「ポップコーン」  
「ソフトクリーム・甘味処」  
「ジュース・ノンアルコール各種」  
利用者の食の安全を考慮します



## ゲームコーナー



「射的」



\* 内容が変更になる場合もあります

## ～北海道散歩～

伊豆散歩と題し、時折このいとうの杜新聞に寄稿しておりますが、今回は伊豆半島を飛び越え、北海道のトマムを散歩してきました。娘夫婦家族と私ども夫婦総勢7名での旅行でした。子供たちから見ると親が元気で動ける間に旅行したいという思いで全て娘夫婦が計画してくれました。（もちろん私たちの旅費は自分持ちです）

皆さんトマムってご存じでした？地名？ググってみたところ涼しそうな所だということ was わかりました。7月末に行ってきましたが、その頃の全国ニュース等で猛暑猛暑と騒がれていて、日本で一番暑い場所はなんと北海道でした。星野リゾートトマムのザ・タワーに宿泊しました。北海道のほぼ中央、日高山脈の北側に位置する大自然リゾート。とにかく広いので施設間の異動はバス移動（無料）。

夕食は外に食べに行くのですが、選びきれないほどの飲食施設がありました。（料金は朝食込みですが夕食は付いていなかった）そもそも標高が高い場所なので早朝は部屋の中から雲海が見ることが出来ます。というか雲海の中。

先にも述べましたが、北海道なのに昼間はとにかく暑かった。避暑地とは思えないほどの高温でした。ただ、朝晩はエアコンは付けなくても過ごせる感じでした。2泊3日の滞在中はツアー等にも参加し、いろいろ観光もできました。

残念なことも起きました。カムチャッカ近郊で起きた地震で、日本も津波騒ぎがあった時期と重なり、帰りの新千歳空港に行くまでのJRが不通となっていました。まずい、帰れない、急遽タクシーを2台チャーターし、空港まで2時間ぐらしかけて移動しました。なんとか帰ってくることができました。思いもかけない出費も重なった旅行でしたが、孫たちとの思い出でも作ることが出来た旅でした。

帰りの飛行機から見た「富士山」。上から見下ろすことは滅多にない。ホッとしました。  
北海道の散歩人



## 9月のレクリエーション と行事予定

|    |                                                       |
|----|-------------------------------------------------------|
| 通所 | 誕生日会 9/3（水）・9/11（木）<br>ケーキバイキング 9/19（金）               |
| 2階 | パンケーキを自由にトッピング！ 9/10（水）                               |
| 4階 | 敬老会イベント（お楽しみに） 9/15（月）                                |
| 5階 | 杜カフェ（辻カフェ） 9/5（金）<br>敬老の日＆誕生日会 9/14（日）<br>運動会 9/30（火） |
| 6階 | たこ焼きパーティー 9/10（水）                                     |

移動美容室「クランチケア」さんがいとうの杜に来ます。  
9月 4日（木）  
9月16日（火） 午後のみ営業  
9月22日（月）  
ご希望の方は各フロアスタッフまで！！

皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしていきたいと思ひます。  
ご意見や投稿などお待ちしております！  
〒414-0002 伊東市湯川 288番地9 ホームページ  
「いとうの杜新聞」編集部まで <https://www.itou-mori.jp/>  
電話 0557-35-4165 FAX 0557-35-4101



## 脱出せよ！南アルプス 農鳥小屋滞在記

伊那谷方面の激しい西風によって、古びたトタン屋根の小屋は酷くきしみ、振動が手元のカップを揺らしていた。自分と同様に行き場をなくした登山者たちが小屋に溢れ、真夏だというのに隙間風が鳴る室温10℃の空間で、豆炭こたつに入り暖を取っている。

進退窮まってからというものの既に丸一日以上の時間が経過していた。時間はいたずらに過ぎていき、いつ帰れるのかとわからない登山者たちの表情は暗い。

思い返せば入山は三日前であった。日本標高第二位の北岳（きただけ3,193m）三位の間ノ岳（あいのだけ3,190m）十五位の農鳥岳（のうとりだけ3,051m）という南アルプス縦走を三泊四日で計画した。山梨県南アルプス市芦安から早川町奈良田まで距離約30kmの行程である。初日は午後より雷雨の予報だったので、稜線でのテント泊を諦め、午前中に山の中腹で行動終了とした。

予報は的中し、激しい雨がテントの壁面を打ち付けた。短時間の夕立ちであったが、周囲に水溜まりを出現させ、テント内を浸水させるには十分な雨量であった。侵入した雨水を雑巾で吸い取り、外へ排出する作業に追われていると、いつの間にか日没を迎えた。この浸水事件は想定外であったが、私の心にはまだ余裕があった。翌日からの晴天予報に胸が躍っていたからである。朝焼けに染まる山脈を期待して、まだ湿気がとれぬ寝床につき、まどろみの中へ落ちていった。

二日目は午前二時に起床した。標高2,230mの外気温は15℃、無風であり月と星が出ている。早すぎる朝食をゆっくりと済ませ、バーナーで沸かしたコーヒーで体温を上げる。午前三時半ヘッドライトを装着し、暗闇の森の中へ独り歩き始めた。耳が痛い程の静寂であり、熊鈴やホイッスルの音をたてていないと闇に引きずり込まれそうで恐ろしい。

間もなくして空が白み、鳥のさえずりが聞こえ始める。森を抜け、まだ雪が残る沢に着いた頃にはヘッドライトは必要なくなった。対面する鳳凰山から日が昇り、進行方向の大樺沢を照らす。豊富な南アルプスの天然水がきらきらと光り、休憩時には何度も喉の渇きを癒してくれた。日の出より二時間も過ぎると、気温の上昇が著しい。非常食込みの五日分の食料が重たく肩に食い込み、連続する梯子に手を焼きすっかり汗だくになっていた。北岳バットレスといわれるクライマーの聖地である大岩壁を見ながら、今回の登山で唯一の難所とされる八本歯のコルに到着する。この場所は九年前に訪れたことがあり勝手は知っていた。大きな堆積岩が連なる不安定で不明瞭な道ではあるが、晴天を味方につけ難なく通過した。森林限界を過ぎると周囲に遮るものがなくなり、長大な南アルプスの山塊が目飛び込んできた。間ノ岳である。白峰三山の真ん中という当を得た地味な名前であるが、広い稜線をもつ他に類を見ない大きな山容には圧巻の一言である。雲海の先には富士山が浮かび、白く可憐なハクサンイチゲの花が風に揺れる。気分が高鳴り、疲れを忘れる。私にとって登山とはこういう瞬間なのだ。富士山、北岳、間ノ岳と日本標高トップ3を見ながらの稜線歩きは始まり、快晴の山頂へ向かっていった。 <続く>



伊豆の登り人

## 夏はやっぱり かき氷



「美味しい！」  
「冷たい！！」  
「あんこ、ミルクが食べたい！」

シロップより甘いあんこやミルクに惹かれる利用者様が続出していました。

いちご味

レモン味

メロン味

ブルーハワイ味

フルーツ餐

こしあん

れん乳

「え～！私の食べる分がないわ～」  
それ位大好評でした。



スタッフ



お好みで  
トッピング



8月中旬に通所にて、かき氷レクを行いました。全自動のかき氷機を使用し、お好きな味にトッピングして楽しみました。王道のいちごシロップが根強い人気なのは予想通りでしたが、伏兵あんこトッピングも負けてはいませんでした。なかには「全部かけてちょうだい！」というツワモノの利用者様もいました。皆さん、食べ終わった頃にはすっかりクールダウンし「冷房消してちょうだい！」と連日の猛暑を吹き飛ばす結果となりました。季節感ある食べ物レクは賑やかに大成功でした。

## 看護部長の 独り言

ユニバーサルツーリズムを皆様はご存じですか？

ユニバーサルツーリズムとは、年齢や障がいの有無に関わらず、すべての人が安心して楽しめる旅行や観光のことです。

バリアフリーの移動手段や施設の利用、介護スタッフの動向など、誰もが「行ってみたい」「体験してみたい」と思える旅を実現する取り組みです。そして、当施設でもこの度【ユニバーサルツーリズム】を取り入れた外出イベントを実施しました。

伊東といえば温泉、地魚、花火を入れ込んだ、職員が考えたプランを、関連施設の利用者様4名の方に味わっていただきました。皆様、「刺身が旨い！」「何十年も観ていなかった花火、感激だ！」など大喜びでした。



2泊3日の伊東温泉旅！お楽しみいただけたでしょうか。

添乗員 川嶋

今後は、いとうの杜の利用者様にも味わっていただける、ユニバーサルツーリズム企画を考えていきますのでご期待ください。

